京城新報

●新聞料 ▲一部三錢▲前金一ヶ月金六十五錢●三ヶ月前金壹圓[illegible]▲六ヶ月前金貳圓[illegible]▲郵稅一月金[illegible]錢

●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回金三十錢▲四號活字十四字詰一行金四十五錢

●陰曆 一月三日

發行兼編輯 印刷人 山下英[illegible]

京城西署西小門通 發行所 京城新報社 電話六六三

新疆旅行記（續）

四月十日吾等は哈密王國を出で、他の纏頭王の領國に入れり、該王は首府の南方六驛なる吐魯番に其居城を有せり、されども吾等は[illegible]ン」と稱ふ。[illegible]に接せるのみ。吾等に先ち旅人等は上述の大官が既に[illegible]せられて首府より來りつゝありと吾等に語れり、吾等は彼の衙門の人々より聞きたりしことより大官は生ける人にて死人なりとは思ひ設けざりき、然るに死體唯一夜の便宜の爲めに官立の宿舍は凡て其最良の客間を贅澤に裝飾し死せる大官は尚生けるが如くあらゆる尊敬を盡さるゝなり余の聞ける所によれば北京まで遺骸を運ぶ費用は一日約七十兩なりとぞ。

と、北京までの旅には殆と六個月を費さん吾等は今吐魯番王の領内にありしか其留りし驛には二旅舍あり一は政府のものにして一は王に直隸す吾等は後の方に泊れり、この場所は其周圍に岩丘多きを以て『タ、シー[illegible]

四月十五日吾等は水無き河床に沿ふて「チャオ」山脈に入り戈壁砂漠を脱出せり此狹谷の兩側に峙てる石は多く磐石を含む、背黑色なる又時には帶紅色なる磐石の地層は屢々殆ど七十度時には殆ど九十度平均四五十度の角を以て傾斜なれり此磐石を使用せば數百萬の家屋を蔽ふべく且つ數百萬の兒童の石板を具ふることを得べし淸國は其山脈中に如何に浩大なる富を藏するよ、而も政府は僅この隱れたる巨大の財寶の端にすらも觸れざるなり。

四月十六日彼の滿朝大官の喪の行列は通過せり、柩に入れたる車及之に續きし多數の車は皆燦然たる絹布の蓋を有し其彫刻は彩色を施し光澤を放てり、濛々たる砂漠より出でたる吾等の目は斯くの如き壯觀に眩惑せり柩車の次に來れる車は半圓塔の如き弓狀の屋根を有するより見れば回敎徒によりて作られたるものなりしに相違なし、此等の車は悉く前方に開く兩翼の扉と其兩側に絹にて縁取れる二つの「ガラス」窓を有し弓狀の天井は前方に靑と白との紋を垂れたり、最初の圓塔の如き車に於て疲れたる旅人の目を惹きしがそが實に燦爛たる材料を以て作られたりしのみならず其車の中には幼孃とも見ゆる二人の若き貴女の座し居たることなり、これ死せし大官の令孃と知られたり、彼等は通行の際外人の居るを見て物珍しき樣に側目を放てるが其顏は極めて美麗にして人目を惹けり其他婦人及小兒を載せたる車は十臺ありき余の聞き出したる所によればこれ伊犂將軍の遺骸にしてこの喪の大行列は迪化府の西方二十日行程を隔つる伊犂州の首府より練り來れるものなり

米國視察談（續）

東京經濟學協會に於て 通商局長 石井菊次郎君演說

もう一つの例を申上げると、同じく桑港の近くでありますが堂元某、木村某等二三の我が同胞は花及び草の培植を專ら業として居る、是れは七月頃に彼地から來ました電報にもございましたが所謂花屋攻擊、瓦石を投じて一種の攻擊を加へたと云ふことが新聞に載つて來たことがありましたが、詰り是等は此の一部が其の犧牲になつたのであります、此の人達の事業を見ると、長さが二百間以上三百間位で、廣さが四間か五間位のガラスの室が出來て居る、斯の如き室を多い者は十も二十も、少い者は三つか四つ持つて居る者もあるが、年中氣管を通して熱を平均させて居つて、如何なる花でも年中絕えず供給し得るやうな仕組で、それには五大洲の名物、有名なる花及び草と云ふものは殆ど網羅してあると云ふても宜い位に集めてある、デ御承知の通り米國人は最も花を貴ぶ人種である、宴會は勿論何か御目出度い事があると花を贈つて祝意を表すると云ふ位であつて、是れは亞米利加全躰を通ずると非常なる高だそうでございますが、カリホルニヤ、特に桑港の附近だけでも此の花草の事業だけで二百萬弗以上は優に揚ると云ふことであります、所が此の有望なる事業は半ば日本人の手に歸して居る是れは全く市場を制すると云ふだけには今日逹して居らぬさうでございますが、餘り永くも經たぬ中に其位の位地に進むと云ふ程になつて居る、毎日各所に於ける宴會で無くてならぬ物は花である、其花の最も大なる供給者は日本人である、從つて或度合までは市場を制して、物價は日本人の定むる所に依ると云ふ位になつて居るのであります。

是等は一二の例でございますが、要するに日本人で彼地に行つて事業を企てる者は、矢張り皆な競爭者を倒して市場を制すると云ふことが目的になつて居る、デ果して市場を制すると云ふ域に達すれば所謂王者の位地に立つ、即ち平和の戰爭に於て弱者を倒して一方の王となる、彼のスタンダートオイルの如きも、利益があるに依て其利益から配當を受けると云ふのでなくて、先づ配當を極めてそれから其配當に應ずるだけの程度に市價を定めると云ふやうに、物價を自分で極めることが出來る、斯う云ふ有樣に達せむと努めて居る、現に或者は達して居る、從つて一たび此域に達した者は、隨分側から見れば傍若無人、他人の利益は眼中に置かず自分の利益を專ら貪る、是に於てかトラスト反對が起つて來る、之に付ましても或は國家主義とか、行政權の關涉とかのひどい國にあつては例へば滿洲に於て日本の宿屋が宿賃を高くする、是れは甚だ外國人が來て迷惑する、五圓のものを三圓にしろと上から言つて參りますと、ねらい劇甚の競爭のあとで、勝を制したる者は市場を制して、如何なる物も自分の好きな物價に殆と押つけて賣出す、甚だ奇異の感を爲すのです、デ亞米利加に於ては、餘り亞米利加人にとつては、吾々が感ずるほど奇異の感が起らぬが、其の亞米利加人であつても或極度まで逹しますと、トラストの暴橫に堪へないと云ふことになるやうでございます、其の一例を擧げますと、亞米利加には今日非常なる高率の關稅がある、そこで此の關稅のある間はいかに安く出來た貨物でも關稅で外國の貨物を制して、其の範圍は一分以下までは高く賣つても差支ない、外國の貨物の競爭を受けざる間は或範圍までは幾らでも高く賣れる、そこで餘り關稅の高くなると云ふことは、亞米利加人の中でも購買者に屬するクラスの者には不利益であるが、そこが即ち米國で組合が多數を制する、議員選擧も多數、皆なカーペーンである、其のカーペーンで多數を制して、其の稅率をどこまでも保たせて、平和の戰爭で勝を制した者は物價を何處までも高くする、但し非常なる高率より一分なら一分低い所を限度としてそれまでは高く賣ることが出來る、そこで內國の買捌いた利益を外國市場に於ける競爭の費用に充てるどう云ふ事でも好きに出來るのである

昨年十一月中の在留邦人（增○、減△）

	本月中戸數	前月末人口	前月に比し
京城	五、五七一	一八、九二三	△一、七二〇
水原	九四四	二、九七一	△二〇
仁川	三、三九一	三、一二〇	○一〇四
群山	一、二一八	三、八二五	○一一六
公州	一六五	五四六	△一六
全州	一六六	四五三	○四
木浦	一、〇五〇	四、〇九八	○三五
光州	二五七	六六四	○二四
馬山	一、四七〇	五、一二三	○二〇七
釜山	五、二四〇	一九、三五五	○一、〇六七
大邱	一、三六八	四、三二五	△一〇一
元山	一、一一三	四、五一八	○三三
咸興	五〇五	一、三七六	○一八
城津	一一八	三四〇	○五
鏡城	三六四	八九七	○六
清津	一八四	七四三	○三
平壤	三、七五三	九、三四一	○九四
鎭南浦	八六五	三、〇八六	○九一
新義州	一、一〇六	三、四四九	△一八二
寧邊	三四八	九九七	○一七
計	二六、〇九七	九九、八八六	○三九二

空前の大冒險

自働車にて北極の氷海を競爭せんとす

北京巴里間の自働車大競爭は一時世界の耳目を聳動したが同競爭に參加した一人でルロアピエーと云ふ冒險家は更に大仕掛の競爭者を得んと試み始めた、夫れは米國の紐育と歐羅巴の巴里双方より同時に出發して一切海路によらず北極の堅氷を越ねて先着を爭はんとする自働車競爭である目下の處では紐育と巴里とで加入者を募集中であつて詳細の計畫は出來て居らぬが是れに付て眞先に起る問題は寒帶を走る自働車の構造を如何にすべきかと云ふ事と糧食石油の供給を如何にして受けるかと云ふ事である近着の外字新聞はこれに付て氏の談話と氏の逸事とを載せて居る、ルロアピエー氏は純粹の巴里ッ子で從來冒險と云ふ冒險には參加せぬ事のないと云ふ人であるが何時も幸ひに命丈は取り止めた僥運兒である去年の巴里北京間の競爭の時もゴビの沙漠七百哩の間無人の郷を磁石一つで驅け拔けた迄はよかつたが露國の西比利亞追放囚人の爲めに襲擊せられ友人は終に姿を見せぬ樣になつたのを氏は運よくもイルクック知事の愛孃クライスに救はれ孃の親切な看護でやつと蘇生したのであるその爲め氏は勝利の榮冠を戴くことは勿論出來なかつたが花嫁を得たと云ふので誰しも知らぬことのない有名な話しである

氏の計畫によれば自働車は勿論通常のものではない四十乃至六十馬力を有し壓窄器を備へ且つ五名位のものを優に容るゝに足る大さでなければならぬ又是れに用する石油三石乃至四石五斗計りは是非積み込まなければならぬ、でないと一つの供給所から次の供給所までの間は少なくとも七百五十哩以上一千哩を隔てゝ居るからである、併し西比利亞も歐洲に近づくに從つて三百哩內外の處で供給所を發見する事が出來るからこれは平氣なものである

華氏零度下六十度乃至八十五度の寒帶を自働車で馳走するのは又とない凄じさである白熊狼の猛獸を稀に見る計り生物の氣はひは何一つあるでなし河は氷りに閉されて音を立てず何日馳せても日沒と云ふことは更に無く僅かに地平線上一二度の處に太陽がぼんやりと照しては居るもの四邊は凡て隱氣な薄明りであるこれを出るときの物凄さはまるで地獄であるけれどこの冒險を終へた時の爽快は到底この難境を踏破したことのあるものでなければ想像の出來ない事であるとはル氏の語る處であるが氏は此先度べーリング海峽に密接して居る一寒村の探險に實見した事のある人以上の如き計畫が一度傳はつて以來米國及び歐洲の冒險家は先づベーリング海峽は冬期に於て果して氷結するか石油以下食糧の準備を如何にせんかとの研究が熱心に始められたが間もなく米國のスタンダード石油會社は出來得る限りの援取を與ふべき由をル氏に打電し來りし爲め一般の景氣頓に活潑となり奮つて參加しやうとするものが續々起り得る迄で氷結するかと云ふ事は幾分疑念を抱く餘地があるといふ事である

ステッセル裁判（五）

有史以來の大審問▲露國陸軍の內幕▲日露戰爭最後の悲劇▲旅順要塞開城事件

第四回裁判は十二月十四日開廷、今回は重に金州戰鬪に於る砲兵隊の運命に就て證人の審問ありしが、本日の證人は第二號の證人なりしにも拘らず法廷に非常の活氣を生じ、原被兩造の間及び證人と被告との間に猛烈なる爭論を惹起し、軍人にも似合はしからぬ擧動に出で相互の名譽を毀損したり殊に此關係に於いて最も無禮を極めしはフォーク將軍なりき、殊に將軍の辯護人たるドムブロフスキイ將軍の擧動に至りては遂に辯解の口實なし。彼れは曾て職を軍事裁判官に奉せしことある軍法學者の先輩として深く法廷の規律に通曉せる筈なれば、自から之を尊敬すべき模範を後進者に示すべき責任を有するものなり。然るにドムブロフスキイ將軍は全く許す可からざる形式に於て幾多の質問を證人に課し、彼等をして同一の事を數回宛反覆せしめ、聊かなりとも前後の答辯に相違あれば直に之を捉へて裁判官の注意を促したるが如き、苟も名譽を重んずる法學者には有るまじき擧動なり彼れが少年時代よりの友にして今日彼れの託訴者たるフォーク將軍に至りては其傲慢一層甚だしく、彼は則ち自己の爲に不利の證言を與ふる證人あれば直接面前に於て之を讒誣中傷したり。而して如何に彼等が仲間同志相反目するかは請ふ乞ふ是れより述べん、先づ本日の法廷に於て爭論の導火線と爲りし前旅順要塞砲兵隊長ベールイ少將の證言を見るに少將は其の本職に精通せる模範的軍人の事とて、自己に對するフォーク將軍側辯護人の攻擊を極めて冷靜に且重々しく反駁し去りて、其の部下の名譽を熱心に主張したり。彼れはステッセル將軍の義弟にして、目下病氣を以てニコライ病院に入院せるにも拘らず、態々病を推して病院より直接法廷に現れたり。是れを以て判士長も特にドムブロフスキイ將軍に注意し、將軍が病中のベールイ證人に對して適當の應對を爲さんことを命したり。剩へ裁判官はベールイ少將に勸むるに、着席のまゝ證言せんことを以てしたり。然れども少將は其の厚意を謝して之を辭したり。

小說 絓のみだれ（六十三）

永井櫻圃

夫婦が室を去ると共に、濟之助は堪かねた如く、

「山田さん、あ、あんまりです、あんまりです。あんまり薄情です……」

と、怨泣に泣き伏した。山田も涙を零しながら、

「……いや、些も薄情じゃない、こ、これには種々事情があるむだから、まあ……其樣に言はないで、私の事を聞いて下れ」



濟之助は、朱鷺色ハンカチを目に當ながら頭を擧げて、

「そりやあ、事情はれ有むなさるでせう……事情はれ有んなさるでせうけれども、甚麼事情がれ有むなさるにしても、居所くらゐは知らして下さつても可いぢやありませんか、私が訪ねて來るのがわるいと仰やるなら、訪ねないで辛抱も致します。それにれ別れ申してから二箇月あまりになるに、唯の一度れ手紙も下さらないで、此麼御病氣にれ罹りなすつても、まだ知らせても下さらないむですもの、あ、あんまり酷うございますわ、貴方には私の心がまだれ分りにならないですか人に心配さすのも程があるぢやありませんか。」

と、怨言の數々を口說立てる。

「そ、そりやお有理だけれど、私の言ふ事も聞いて下れなきやあこまる。私だつて手紙も出したし、逢もしたし、居所も知らせたいのはやま〳〵だが、そこが浮世の義理で、知らせる事も逢ふ事も出來ない、だから致方が無い、這度だつて然うだ、死ぬほどの病氣に罹つたのだから、來て貰いたいのは心一ぱいだけれどこれまで手紙一本出さずに置て、病氣になつたから來て下れとはいくら何だつて言せないだらう……だから私の心中も少しは察して下さきやこまる。」

「ですけれど、察しやうにも貴方、何う云ふ理由だか些とも事情が分らないんですもの何う云ふ理由でれ手紙一本下さらなかつたんです。」

「そりやアもう聞かないで置て下れ、今更聞いたつて致方が無いぢやないか。」

「いゝえ、聞かなきやなりません、別れたきり手紙一本下さらない所を見ると、屹度私にれ怨でも有つたに相違ありませぬ、どうぞ其理由をれ聞せ下さいまし。」

「なあに、怨も何も有つたのぢやない[illegible]それほど聞きたければ話して了はうよ。別れたきり今日まで音信しなかつたのは、互の身のためを思つたからだ、とばかりでは分るまいが、實はあの新聞が出たゝめお叔父の家で非常に立腹して、學資も出して遣らない、宅に同居も許さないと云ふので止むを得ず此宿に移宿つたのだが、考へて見れば皆な私が惡いのでまだ學校に入つて居る身分でありながら、義太夫語に心を奪はれて、其結果新聞にまで出されるなんて、叔父の家で怒るのも無理だ、こりやア一番奮發して名譽恢復しなきやならないと思つたのは既に夢の覺方が遲かつた、叔父の家から學資を絕たれて了つたので、學校にも通學が能ないから、今年卒業と云ふ身をもちながら、學校も退學して了ふ、のみならず、月々の下宿料も自分で稼いで行かなきやならない境遇に沈むで了つたのだ。」

語り來つて、苦しさうに息を繼いだ。

京城新報

舊慣制度の尊重

韓人は其祖先が支那文の糟粕を受けたる時代に於て全く形式のみの感化を受けて之を韓化し、之を半島の國粹と爲すこと能はざりき、近世世界と交通してより最早四十年となるに拘らず、韓人中にはギゾーの文明史もクワンプスの米國史すらも克く了解する者も無く、隣邦の日本人より明治維新の經過を説明せられて驚惑を爲す人民なり、本來變て爽宜し、安定して國權擴張、論位は好む處なれば、彼等は其ーランドの亡滅史を愛讀せる、只だ久しき時代の間に被滑したる外交辭令の術に長じ何事も世界の强國に倣はる形式丈けは模擬するを好むが故に、自國の國民に適合せる制度舊慣を改良すること居るも思はぬなるか。

若し彼等の政府を挑發して、彼等の政權を煽動して、制度を變革し、舊慣を破壞せしめば、彼等は殆んど急轉直下の勢を以て斷行し、寸毫も之によりて國民の福祉を增進する餘地あるや否やを顧みざるべし、何となれば制度舊慣を破壞して新文物を輸入するも彼等に取りては全く無意味なれば也。例令へばアングロサクソン民族の制度に代ふるにラテン民族の舊慣を以てするも、格別之を異となさざるが如く、爲政者にして能く其舊慣の改廢を爲すを得るとして新文物に崇拜して國民の反抗を買ひ、却つて逆惑至極の結果とならしむること尠からず、故に保護の責に當る我當局者は、韓人の性情風俗を深く了解して少數の政權者に阿るが爲めに多數の人民に反抗を惹起せしめざる樣、十分注意せられたき事なり。

文化は貧弱にして何等の功能無く、多數の國民は舊慣制度の爲めに自ら其野性を飾り、只だ大體の規模に於ては、今日の如き各般の變革事毎に起生し、其任に當るものは多く韓國の事情に暗く、只だ大體の國の性態に就ても知りて、一國の政策方針は把持して失ふことなきも、韓國の制度舊慣に就て初見の人々多く、共濟政策上巨大の誤解を來たすと云ふ可く、特に文明の普及など云ふは明治の十年前にして尚且つ難しとする處なれば、我當局者中改革を急にして實力の疏通を後にすることあれば、返へす返へす一例を擧げて結論とすべし、昨年八月事變の際に於て韓國政府大臣等は國家存亡の大機に臨むで、斷髮などを最大急務の如く心得、自國の國民より異常の反抗を受けたり、之を制し得るの手段は更に之を無かりしが如き、是れ必ずしも現政府の大臣のみならず、韓人は大抵斯る變革病に罹らぬものは無し、此上乍ら我當局者に對して制度舊慣を尊重するの必要を勸告す。

統監歸任の電報

まだ二月の初旬なるに三月上旬若しくは四月の初旬にあるべき伊藤統監歸任の電報東京より來りたり而して今後も登週間目位には稍々來ることゝなるべし彼等政客等の注意を惹きしむるの効能あり猶一昨年過去の事なりしは一昨年留任中に喧嘩を始め父歸るとの報を聞て其喧嘩を中止するは一選二遍ならず今回となりては父歸るの報もありて効能なきものなり人好しの統監歸任の電報に氣附かず尚一昨年の夢を繰返し統監歸任の電報に仍て韓內閣の動搖を鎭め韓政客の活動を止めんと試む其無効なるを知るべきのみ統監の存し居る中なり已に猶先生たる今日尊の歸ると歸らざるとは何等政界に影響を及ぼさゞるなり

路透電報

葡皇暗殺せらる

葡萄牙皇帝及皇太子暗殺せらる其の原因結果を明瞭に知る能はざるも或はリスボン無政府黨員の所爲にはあらざる乎尚ほ後報を待つべし因に皇帝は風算四十五にして氏に名主の聞あり

東京電報

間島問題の質問

神鞭代議士は間島問題に對する政府の答辨不得要領にして國民に不親切なるものとし再び質問書提出の筈

增税會合流會

政友會大同倶樂部選擧に增税賛否に就會合したるも何も流會となれり（二日發）

各地電報

▲高橋侍從武官の來着　高橋侍從武官唯今來着せらる（二日馬山發）

▲李宮相の歸着　李宮相本日歸着今夜は當地に一泊し明日京城に向ふ筈（二日太田發）

▲江界郡の暴徒　江界郡照林面暴徒討伐隊は廿七日約七十の賊を襲撃して之を撃退す賊の死者三負傷不明我兵負傷一賊の主力は廣川に在る如く討伐隊は卅日歸途に就く江界守備隊より報ありし憲兵の報によれば賊は咸鏡南道長津に潰走せしと猶別報にありし賊は熙川に在らざる如し（一日午後遞發）

▲巡査殺害さる　華川郡在勤巡查鄭本善は廿七日公用を帯び當地警察署に出頭の途中「カジツド」にて暴徒の為殺害さる（一日午後春川發）

雜報

太皇帝に奏上

間島問題に付清國政府は獨逸の後援を受け間島問題に付强硬なる態度を以て日本政府を屈せしめつゝありとの事を太皇帝に奏上したる者あり之を聞きたる太皇帝は侍臣を顧みて微笑を洩されたりと云ふ

宣教師の憤慨

地方に於ける無智の一進會員及自衛團々員等が故意に米國宣教師の傳道事業に向て妨害を加へつゝあることは屢耳にすると ころなるが右に付各宣教師等は目下非常に憤慨し相當の所置を採らんと企てつゝありと云ふ

●太皇帝の參拜　太皇帝には一昨日午後〇時四十三分重明門より御出門景孝殿、懿孝殿及睿源殿へ御參拜あらせられ同一時五十五分同上門より還宮あらせられたり

●長谷川大將の承寧府訪問　二月三日午前十一時十五分德壽宮承寧府に到り總管趙民熙氏に面會一昨日太皇帝陛下より金杯及三鞭酒御下賜せられたる御禮の爲め出頭したるを以て執奏を願ふと申され直ちに退出したり

●副統監へ膳部下賜　韓國皇后より曾禰副統監へ元旦の膳部を下賜されたり

●清國總領事館の拜賀　一昨日は清國の新年に就き清國總領事館に於ては拜賀を受くべき由にて統監府よりは石塚長官代理國分書記官佐竹秘書官小松書記官本田通譯官三浦理事官等は同館に到り祝詞を述べたり

李允用氏歸韓

韓皇太子に隨從し昨年十二月五日當地出發日本に滯在中なりし宮內府大臣李允用氏は去月三十日東京出發一日下關より連絡船にて一昨二日釜山に着し直ちに京釜線に搭じ同夜は太田に一泊し昨日午前太田發の滊車にて同日午後二時四十分南大門に着し宮內府官吏其親近者の出迎を受け直に入城參內し皇帝に謁見し伏奏する所ありたり

●李首相の宮相出迎　一昨朝總理李完用氏は令兄李允用氏歸國に就水原迄出迎たり

●法相の副統監訪問　法部大臣趙重應氏は昨日正午十二時官邸に副統監を訪問せり

露國民なる韓人

露領沿海州及ウスリー地方に移住し露國に歸化して國籍を取得したる韓人の數は殆んど五十萬に達するとのことなるが之等歸化韓人が韓國に歸住したる場合は露國民として取扱ふべきか將韓國民として見るべきかは韓政府に於ては未だ何等決定を爲さゞるも露國にては右を自國の臣民と見做し相當の保護を與ふべしと云ふ

火災保險の料率引下

明治火災を始め京仁其他韓國に於ける各火災保險の代理人等は目下各本店に向て料率引下げの件に付交渉中の由なるが聞く所によれば右交渉の結果として遠からず例の協定率を幾分引下ぐることゝなるべしと云ふ

韓國度量衡に就て

韓國の度量衡を改正し日本の制度と同一になす事となりたるは既報の如くなるが當局者の語る處によれば右は從來の慣行もある事なれば同時に全國に實施する事は却て不都合を醸するを以て先づ主なる都會四五箇所に實施し漸次全國に普及する方針にて之が製造は總て日本政府に托し韓國政府に於て檢定したるものを日韓人中の信用ある者に許特販賣せしむる筈なりと云ふ

韓國不穩の影響

（大阪毎日所載）

鶴原長官は韓國暴徒の漸く鎭定に歸しつゝあることゝ、暴徒の歸順するもの少なからざることを說き、韓事甚だしく憂ふべきものなきをいへども、實際は然らずして暴徒襲來の報は頻々として來り、少數づゝ內地に入り込みし邦人は大抵引揚げ、韓國渡航者も亦減少し、爲に邦人の內地經營に頓挫を來せしのみならず、日韓商業も亦惡影響を蒙り未だ回復の機運に向はざるは、統計およ び事實の明示する所なり、統監府の之に對する責任は決して輕少にあらず、又未だ事を輕視して安心すべきの期に達せざる也

電車問題再交渉

電車賃値上に關し熊谷民長の交渉に對し電氣會社の回答は前號所載の如くなるが同回答に對し同民長は昨日再び左の照會狀を發したり

拜啓陳者過般御會見の節に於て小生より提出したる電車賃値下及其の他改良意見に對し詳細御回答に接し候處第一項記載の一區三錢に輕減するの件に付ては御讓歩致兼候趣拜承然るに今回交渉致候主要の目的は第一項にして其の他の各項にありては寧ろ貴社の利益發展の爲獻策したるものに過ぎず而かも小生は第一項の賃錢にして萬一輕減する能はざるの事情あれば特別割引券を發賣せんことを要求し置きたるにも拘はらず此の件に付ては何等の御回答に接せざるは甚だ遺憾とする處に御座候勿論今回の値上に就ては其の理由一應御尤の樣には候へ共韓貨の變動は今日にあらずして既に兩三年前に於て大なる下落を來したるにも拘はらず當時何等救濟の途を講ぜざるは必竟日韓人の乘客漸次增加せし爲優に韓貨の下落より生ずる欠損を補ふに足りたるものと被存候殊に日韓人膨張の結果として幾分輕減の方法を案出すべき場合に於て却て値上げを爲したるが如きは甚だ謂はれなきのみならず社會の進運に伴ひ各國共交通機關の改良完備を盡しつゝあるの今日貴社經營の電車の如きは寧ろ公衆の侮蔑する處に有之必竟大韓日報朝鮮日々新聞が其筆論を試みたるも右の理由に外ならざる義と被存候而して小生等が貴下及兩新聞社の間に立入り圓滿の解決を爲さんとしたるは從來小生と貴下とは公務上互に厚意を表示せる關係あるより誠意を以て仲裁の勞をとらんとせし者に御座候然るに貴下が其の主要の條項に對し一片交讓の餘地を否定するが如きは誠意雅量に富める貴下の御所存とも受取り難く頗る遺憾とするものに御座候殊に本問題に關しては兩新聞社よりも至急決答を求められ候に在荏苒空過するは小生等の責任にも相關し候次第に付右第一項賃金輕減の件は更に御再考を煩度尙明治町三丁目軌道延長の件に付ても御記載無之多分御書脫の義と被存候へ共此件も併て至急何分の御回報を煩度此段得貴意候敬具

明治四十一年二月三日　熊谷賴太郎

エッチ、コールブラン殿

追而本件に關しては龍山民長淵上貞助京城商業會議所會頭秋吉富太郎兩氏とも協議致候へ共便宜上小生より右御照會致候次第に付御承知被下度候尙本問題に付ては今後其の解決如何によりては京仁各新聞は或は一致の態度を取るやも難計御含まで申添候也

●釜山商業會議所の近況　釜山商業會議所は近日會議所定款及び附屬商品陳列館規則改正の件四十一年度豫算其他に關し役員會を開催する由なるが四十一年度豫算は前年度經費額一萬一千百八十五圓餘なりしを八千七百餘圓に節減する筈なり而して商業會議所財産は主として土地及び建物にして本年度繰越負債金二萬八千圓を扣除するも優に十三萬餘圓の基本財産を有すと云ふ

●仁川會議所の役員會　仁川商業會議所にては昨日午後三時より臨時役員會を開催せり

營口に於ける獨人の活動

獨乙人の經營に係る有力なる某會社は清國人の例の利權熱の高潮に乘じて自國の勢力を南北滿洲に扶殖し以て我が滿洲經營にあたらんとする計畫にて昨今頻りに清國官憲と交渉し之に資金を供給し牛家屯に於ける現營口驛の營口新市街にまで延長せらるゝべきを見越して目下歐米人の所有に歸し居る其の附近の土地を悉く清國官憲の手にて買收せしむべく私に奔走し居れりと云ふ

●馬山居留民の請願　馬山居留民は韓人と商取引を營み之に關する訴訟事件は地方裁判所の管轄に屬するもの多し然るに訴訟毎に交通不便なる晉州地方裁判所に提起するは困難云ふ可らずとし過日來屢々協議の結果同地に地方裁判所設置の請願をなす事に決議せりと云ふ

清州の東亞開進教育會

清州に於ける東亞開進教育會は一時盛んなりしも漸次會員中不正の行爲をなす者あり遂に一般の信用を失ひ支會長は肆に事務所を米國宣教師に賣却し會員離散し遂に昨年初解散せしが今回京城本部は再び支會を創設し同郡州七郡に會員を募集する事とし一月廿六日清州郡居元參領閔泳辛主唱者となり有志者廿五六名を召集して組織の方法を定め會長に閔泳辛副會長に元郡守閔泳殷を擧げ廿八日郡內の有力者七十餘名を招待し協議會を開き直ちに入會したる者六十五名あり即時役員の撰定を了せり會員は郡守隊將校前官吏富豪等殆んど地方の有力者を網羅したり如斯好果を擧げたるは會員たらざる者は商業農事を營む能はざるは勿論子弟を學校に入るゝ事能はず等の流言あり且つ入會の勸誘盛になりしため止むを得ず入會したるものにして排日派親日派耶蘇教徒等種々異樣の人物を收容し居れるを以て將來果して盛大に赴くや否や疑問なりと云ふ

●岡崎師團長の宴會　駐韓第十三師團長岡崎中將は一昨日午後六時より花月に於て新年宴會を催されたり列席者は長谷川軍司令官、曾禰副統監、牟田參謀長、藤田軍醫監、遠藤主計監、石塚參與官及駐韓軍隊佐官以上、各部次官、熊谷民長等七十餘名にて頗る盛會なりし同宴會には特に討伐隊にて獲たる野猪の料理ありたりと云ふ

衛戍病院軍醫の功勞表彰

愛國婦人會韓國本部の篤志婦人諸氏が昨年夏期京城暴動事變の際衛戍病院收容の負傷者篤志看護の功勞に對しては舊冬東京本會より有功章を交付し夫々功勞の表彰ありたるが當時篤志婦人に對し懇篤なる指導の下に克く看護の實を擧げしめたる中川衛戍病院長外諸氏は功勞顯著なりと認められ今般本會に於て總裁殿下の台聞に達し各頭記の通り功勞を表彰せられたり

一、謝狀並三ツ組木杯　中川二等軍醫正
一、同　盃單木杯　宮崎一等軍醫
一、同　上　氏家二等軍醫
一、同　上　山下一等看護長
一、同　上　高井三等軍醫正
一、同　上　田中同

●大三輪氏の敘勳　韓皇には大三輪氏死亡の報を聞召され勳二等（八卦章）に陞敘せられたり

●長湖院方面の討伐　中川騎兵隊下士以下七騎は三十一日長湖院東北方約三里の觀傳に於て賊六十を襲ひ其三十を殪し其一を捕へ二十餘を負傷せしめたり鹵獲品は銃六火藥彈藥及雜品五我に損害なし

●竹山郡の賊　京畿道竹山郡柏草洞（陽智駐在所より約二里）へ暴徒約五十來襲したる旨一進會員の報告に接し直に劉李の兩巡査を派し情況取調べたるに一月廿五日暴徒三十名各洋銃を携帶し陽智郡古東面護嶺里（同郡より四里）を通過し同面寺洞に一泊し竹山郡柏草洞を經て廿七日再び陽智郡へ來り漢里川安永市の家を燒拂ひ同村に潜宿し翌廿八日范於里に於て一進會員三名を殺害したり尚郡內各洞には絕えず暴徒徘徊しつゝありと

●暴徒電杆を切斷す　一月廿六日未明永平郡北面赤峴里より屈雲里間に於て暴徒の爲めに電柱二本切斷されたるも同廿九日修理を加へ目下通信に差支なきに至れり

●暴徒收稅員を襲ふ　一月十六日求禮郡內外山面內溫里に約廿名の暴徒來襲し收稅員の宅より金二百三十餘圓を奪ひ去れり

●星州國債報償會の紛擾　星州郡內に於て客年募集せる國債報償金額は四千餘圓に達し內一千圓は京城なる皇城新聞社に送付し殘金は郡內有志間に保管せる由なるが近來應募者中日本の債務を償還する事は不能なりと悟り先の寄附金の返還を請求する者續出するに至り會長は之を拒絕し目下紛擾を極め居れりと云ふ

●仁川局の爲替貯金高　仁川郵便局に於て先月中に取扱ひたる爲替貯金高は左の如し

		振出高	拂渡高
通常爲替	口數	二八五七	一七七〇
	金額	五二八一一	五二九四二
外國爲替	口數	一一	八
	金額	二一七	四九五

		受入高	拂戻高
郵便取立金	口數	三二	二〇八
	金額	三七〇七	三五四
郵便貯金	口數	三七二	一〇二
	金額	三四七一	四一四一
振換貯金	口數	一四三	三
	金額	五四八七	五二七

仁川各驛間貨物運賃比較

驛	單位	新運賃	舊運賃	低減
新義州	百斤	七、三四〇	一六、八二〇	九、四八〇
	一噸	八〇四	一、七七	[illegible]
宣州	百斤	六、八三〇	一四、三七〇	七、五三〇
	一噸	八五	一、五三〇	[illegible]
定州	百斤	六、〇〇〇	一三、三三〇	六、六八〇
	一噸	八〇四	一、四三〇	六二二
新安州	百斤	六、三四〇	一二、八二〇	五、四八〇
	一噸	七二四	一、四五	六六一
平壤	百斤	五、七五〇	九、四七〇	三、七二〇
	一噸	七二四	一、〇八〇	三六
新幕	百斤	四、四〇〇	六、一三〇	一、七三〇
	一噸	五八〇	七〇五	一三六
開城	百斤	三、一〇〇	三、六二〇	五二〇
	一噸	四三〇	四五五	一〇五

右記運賃は發着手數料をも含む

●暴徒歸順者を迫害す　太田警察署管內に於て暴徒一名歸順を申告したるを以て洞長に引渡し監視に付したるに一月廿一日夜半四名の賊徒該歸順者の家を襲ひ短銃を發射して重傷を負はしめ逃去せり

●二日參內者　計八十三名（內婦人十五人）重なるは完興君李載冕義陽君李埈鎔完順君李載完承候官尹澤榮同尹德榮同尹正榮同尹弘燮同李海昇同李內藏同李埈鎔同李址鎔同李達鎔同李海昌同趙命九同趙鼎九同閔泳徽同閔泳奎同閔泳韶同金容鎭同金宅鎭侍從院卿閔丙奭同副卿李會九典膳司長金翊鎔德壽宮計百九十九人（內婦人七十七人）重なるは完興君完順君義陽君承候官閔泳徽同閔泳韶同閔泳奎同閔泳綺同閔鍵植同李海昌同李載克同李埈鎔同李址鎔同李內藏同李達鎔同趙鼎九同趙命九同金容鎭同金宅鎭同李海昇同尹澤榮同尹德榮承寧府總管趙民熙副總管朴齊斌同侍從長金春熙侍從院卿閔丙奭同侍從職杜東同韓相鶴侍從武官洪完植侍從院副卿李會九等なり此日は陰曆正月一日に相當したるを以て賀辭言上の爲め兩宮共出入多かりしなり

●安田仁川局員の歸任　安田仁川郵便局會計主任は歸朝中の所本日歸任の筈

●仁川局員の種痘　本日午後一時より仁川郵便局々員一同は田中囑托醫より種痘を受くる筈なり

●馬山丸の入港　本日仁川に入港すべき馬山丸には軍人便乘者三名及軍需品百二十三個を積載しある旨宇品本部より仁川運輸部に通知ありたり

京城の火事

（燒失六戸、原因は夫婦喧嘩）

陰曆の元日といへる一昨二日午後七時半頃本町七丁目二十二番戸淨瑠璃の師匠竹本彌三次(六十)方より出火し折節東北の風吹き起りて瞬く內に肴商德永啓治、理髮職小林重男、雜貨商池田佐吉、大工職下郡平治、古道具商小阪久太郞の各家に延燒したり尤も此の六戸は溫突式の藁屋にて構造も小なるもの耳なるがそれに接續して山崎萬儀の所有せる二階建の空屋あり若しこれに延燒せば火勢激甚となりて軒を駢べし同町は殆に陷るべしと早くも駈けつけ來れる第一部第二部の消防組は愛を先途と力を盡くし第五十一聯隊の兵卒また大に力を添ゐ統監府の消防組もまた來つて何れも目覺しく働きたると此建物は幸にもトタンを壁に貼りつけ居りしとにて類燒を免かれ僅かに軒先を焦したるに止まりたり扨其原因は奈何にと探つて見ると彌三次は稼業柄にも似合はぬ頑固党にて酒の上の惡癖あり此の日四時頃より內縁の妻金井塚サトを相手に飲み始め醉の廻るに從つて細らぬ舌で管を卷き是れにサト[illegible]有合ふ茶碗を投げつけたる所醉紛し手なれば度外れて意外にも釣せしランプを打ち碎き石油散亂して座敷一面の火燄となりアレと云ふ間もなく藁屋のことゝて屋根に燃え上り此の慘狀を釀すに至りしといふ

●**韓國の新年** 一昨日は陰曆正月元日にて韓國にては本年より陽曆を用ふることゝなりしも一般人民は舊慣を守り同日を以て新年の式を擧げしかば一般に業を休み國旗を掲揚して祝意を表し新衣を纏へる適齡者は親戚知己の間を往來し總角等が紅衣を纏ひ嬉々として紙鳶を飛ばすなど地方には暴徒の騷ぎあり國の將さに亡びんとするをも知らず顏なる一として泰平の祥ならざるはなかりし同日宮中に於ては內外臣僚の參賀は陽曆に於て行はせられたれば其儀式はなかりしも新年に對する古來よりの儀式丈は行はせられたりと又た在留の淸國人も陰曆を用ふることゝて前夜より爆竹を鳴らし新年を迎へ元日となるや各戸業を休み國旗を掲揚し祝意を表し各知人を廻禮する等一般に好景氣の如く見受けられたり

●**僞造貨幣行使者逮捕** 近頃淸國安東縣市場に於て奉天僞造五圓紙幣續々現はるゝを以て同領事館警察署は新義州警察署と協議し犯人搜査中客月十日安東縣居留牧山淸太郞同高橋伊勢吉の兩人が平安北道定州居留小柳利雄方に宿泊の際僞造奉天紙幣五圓券百枚を授受せし事を探知し新義州警察署に於て逮捕し目下取調中なり

●**囚人四名逃走** 去る二日の午前一時より五時迄の間に於て警視廳拘置課の留置所に繋ぎありし窃盜朴近興、窃盜朱奉石、強盜利大俶、強盜朴敬俊の四名は溫突を切り拔き火焚口より脱け出でゝ逃走したりと

●**仁川の種痘數** 再昨日施行されたる仁川敷島花街の種痘は頗る好成蹟にて接種者二百〇六名の多きに達したりと云ふ

●**天然痘又發生す** 一時跡を絕ちたる當地の天然痘は一昨日に至り又々發生したり其患者は櫻井町番外居住島根縣平民佐々木又市(四十)なるものにて直ちに靑坡病院に送られたり因みに本年一月一日より昨日に至る患者數は五十二名なりしと云ふ

●**又天然痘** 別項記せし外又西署西大門外京義鐵道管理局合宿所第十二號室寄宿田邊喜作(七十)は一昨日天然痘に罹りたれば警官醫師出張早速消毒を施せし上昨日龍山靑坡病院へ收容したり

●**韓人列車に左手を轢斷さる** 二月一日午前十一時三十分南行列車雀浦場驛發車の際韓人金龍三飛乘せんとしてレール上に落下左手を轢斷されたりと云ふ

●**茶碗を投げ付くる** 原籍島根縣濱田戸の浦新田榮次郞(七十)は去る一日午後七時頃綴洞百統一戸酒舖丁大及方に赴き一杯二錢五厘の朝鮮酒二杯を平らげ財布より二十錢銀貨を取り出だして十五錢の釣錢を受取り迄は良かりしも又々其の內より五錢を投じ一杯を傾けしかば丁大及は二錢五厘の釣錢を與へしに榮次郞は何を巫山戲るか今のは二十錢銀貨なれば十七錢五厘の釣錢になるではないかと言ふや否や前に置きありし茶碗を丁大及目掛けて投げ付けしに茶碗は同人に當らざりしも微塵と碎けたりしかば早速派出所に訴へしに結局榮次郞より茶碗代として二十錢を辨償して事濟となりたり

●**高麗燒を掘る** 近頃高麗燒が好者の間に持て囃され羽が生ねて飛ぶほどの高價で賣れると聞いて大分縣平民甲斐佐太郞(三十)島根縣平民石飛忠義(二十七)の二人が共謀し去月二十七日開城より約一里餘の南方なる多視峴の山林中に於て金東成所有の墳墓を發掘し高麗燒の大小皿十一枚と鏡二枚と銅製の箸二本を取り出し是さへ手に入れば大願成就と喜んで持ち歸り折角賣却せんとする所を運拙くも巡査に認められ何れも窃盜罪にて告訴せられたり

●**借取只飲** 鹿兒島縣生れの鞄製造職福島安之丞(三十)といへるは面の皮の厚さこそ己が作れる鞄の皮に等しく仁川新町二丁目の日比野萬吉は多少の面識あるより去月十五日同家に抵り懇意先に祝儀ありて晴着の入用あれば一寸貸し呉れよとて着類一揃を取り出し其儘質飛して酒の代とし同二十四日には水原の料理屋西村ウタ方に至り四圓三十五錢の散財をなし金は持つて居ぬから勝手にせよと熱を吹く所を巡査に押へられ詐欺取財犯として告發せられたり

●**胡亂な奴** 一昨二日午前二時頃一人の職人体らしき男が明治町一丁目を北の方向に行き居る樣子の如何にも怪しき廉あるより密行の巡査が引捕へ取調べたる所同人は原籍岡山縣平民當時龍山大林組大工山室百太郞といふものなるが實は今夜本町七丁目の友人の宅に參り只今自宅へ歸る途中なりと申し立てしより巡査は不審に思ひ龍山へ歸るものが明治町を北に行くとは如何なる譯かと訊問せしに同人は大に當惑せし樣子なりしがナニ今のは嘘で實は新町を素見して歸る所なりと辯解せしが何分申立て曖昧なるより本署に引致せられ目下取調中

●**ハテ怪しやナ** 當地新町淸月樓の雇人坂田友市が去る十日新町局にて金十圓を爲替に組み直ちに書留にて遠方に發送したる其の爲替券を翌十一日に本町四丁目の郵便取扱所に持ち行き現金引替を請ひし者ありと合點の行かぬことゞもなり

●**節分** 昨日は節分にて福は內鬼は外と豆撒きを行りし家も少からざりしが各料理屋の藝妓仲居は何れも丸髷に結び化けに化けたれば泥硯筋は時ならぬ百鬼夜行を見たり

●**淸津の物價表**（續き）

護謨付鉛筆	一本	自三錢至六錢
アンペラ（敷物）	一枚	三十五錢
木炭（並）七貫五百目	一俵	八十錢
薪　十貫目		五十錢
石炭　百斤		一圓
石油（上松印）（二罐入）	一箱	四圓
同（勝利印）	同	三圓五十錢
小洋蠟（和製）（六本入）	同	十八錢
火鉢（木製）	一個	自一圓至四圓
同（鐵製）	同	自八十錢至三圓
飯臺（大）	一脚	一圓三十錢
飯櫃	一個	一圓三十錢
薄鍋（瀬戸引）	十枚	二圓八十錢
同（同八寸）	同	三圓五十錢
椀	一個	自八錢至十五錢
鉢（陶器）	同	同二十錢同一圓
丼	同	同二十錢同六十錢
皿	同	同十錢同三十錢
茶碗	同	同十錢同二十錢
煎茶々碗（五人前）	一揃	同四十錢同二圓
急須	一個	同十錢同五十錢
○食料品		
白米（極上）	五斗一叺	九圓六十錢
同石拔	同	九圓三十錢
韓白米	同	八圓三十錢
大豆	一石	六圓
小豆	同	七圓五十錢
粟	同	九圓
大麥	同	四圓
メリケン粉	百目	六十錢
大根	同	二十錢
人參	同	四錢
蕪	同	三錢
葱	同	三錢
玉葱	同	六錢
白菜	同	二錢
キャベツ	同	四錢
牛蒡	同	四錢
鹽（日本製）	一升	十四錢
同（韓國製）	同	十二錢
醬油	同	自四十錢至七十錢
味噌	一貫目	七十五錢
白砂糖	百目	十六錢
茶（川柳）	一斤	四十五錢
同（正喜撰）	同	八十錢
淸酒	一升	六十錢
同（四斗五升入）	一樽平均	十九圓
正宗瓶詰　四合入	一本	三十五錢
燒酎（韓國製）	一升	三十錢
香竄葡萄酒	一本	四十五錢
札幌ビール	一本	三十錢
朝日ビール	同	三十錢
カブトビール	同	二十八錢
ミルク（鷲印）	一個	四十錢
同（イシ印）	同	三十錢
胡麻油	一合	五十錢
各種罐詰　四打入	一箱	九圓
椎茸	百目	一圓
干瓢	同	三十五錢
高野豆腐	壹個	八厘
寒天	壹本	三十錢
昆布	百目	十錢
海苔	壹帖	壹錢五厘
鰹節	百目	八十錢
鷄卵	十個	二十九錢
鷄肉	百目	三十五錢
牛肉	壹斤	二十五錢
豚肉	同	二十錢

● 來る四月一日より當局全線大貨物及旅客賃金左の通り實施致候

● 大貨物賃金

種類品名	計算上單位	運賃率 二十哩迄	廿一哩以上五十哩迄	五十一哩以上百哩迄	百一哩以上二百哩迄	二百一哩以上	最低運賃	備考
斤扱大貨物	百斤	九厘	四厘	四厘	二厘	一厘	九錢	
噸扱大貨物	一噸	五錢	四錢	三錢	二錢	一錢	五十錢	
動物 牛、馬	一頭	十錢	八錢	六錢	四錢	二錢	四圓	四頭以下は四頭分を取る
動物 犢、駒、羊、豚	一哩	五錢	四錢	三錢	二錢	一錢	四圓	八頭以下は八頭分を取る

但し計算は累算法に依る

● 旅客賃金

	三等一人一哩に付
五十哩迄	三錢
五十一哩以上百哩迄	同 二錢五厘
百一哩以上二百哩迄	同 二錢
二百一哩以上三百哩迄	同 一錢五厘
三百一哩以上	同 一錢

但し計算は累算法に依る

二等賃金 三等賃金の七割五分增
一等賃金 同 十五割增

● 哩程の通算

從來京釜、京義及馬山線共相互間直通輸送の場合に於ける運賃は小手荷物の外總て各線各別の計算としたるも四月一日よりは發驛より着驛まで哩程を通算し所定の賃率を乘ず

● 日本內地との連帶運輸

四月一日より京義及馬山線各驛と帝國鐵道關東、北陸、關西、山陽及九州線の主要驛相互間連帶運輸の便を開き直通輸送を爲すべき豫定にて目下其筋へ交涉中に屬し右開始の曉には以上哩程通算法に依る賃金の低減と共に北韓方面の交通に一大新生面を開くに至るべし

明治四十一年一月
統監府鐵道管理局

京仁間往復割引

來る四月一日以降に於ける當局線旅客賃金實施と同時に京、龍、仁間往復旅客の御便利を圖り割引往復乘車券を發賣致し候

◎發賣區間
南大門、西大門、龍山 と 仁川、紐峴 驛相互間

● 割引往復賃金
一等 三圓　二等 二圓　三等 一圓

本乘車券は往路券面著驛中の何れに下車し又は歸路何れの驛より乘車せらるゝも旅客の御隨意に有之候

明治四十一年一月
統監府鐵道管理局運輸部
電話八五一（營業課）